

2019年(平成31年)3月19日 火曜日(19)

スポーツ

全国高校

選抜大会

ソフトボール女子

長崎商8強ならず

V3狙う王者に惜敗

全国高校選抜大会は18日、佐賀市と東京・あきる野市でソフトボールが行われ、県勢は女子の長崎商が3回戦で創志学園(岡山)に1-2で惜敗し、初の8強入りはならなかった。男子の大村工は初戦の2回戦で郡山北工(福島)に6-0で快勝して3回戦へ進んだ。

で勝ち越しを許した。大村工は三回に大量5点を先行。六回に1点を加えた。投げては迎、赤坂が完封リレーした。

19日は両市でソフトボール女子の準決勝、決勝、男子の3回戦、準々決勝を実施する。

(成績は本県関係)

長崎商は初回到1失点。二回に平石の中越えソロで追いついたが、その裏に1死満塁から捕逸

部員16人の公立校の挑戦は、あとと悔しさをにじませた。

一歩及ばなかった。ソフトボール女子3回戦。長崎商は3連覇を狙う創志学園(岡山)に1-2で敗れ、初の8強入りを逃した。溝口監督は「選手たちはよく頑張った。惜しかった」

初回に失策絡みで先制された。二回の先頭打者はミスをしたら5番平

ロッカールーム



【ソフトボール女子3回戦、長崎商—創志学園】2回表長崎商無死、平石が中越えに同点ソロを放つ =佐賀市、大和中央公園自由広場

長崎商 平石 挽回の同点ソロ

石。「(投手の)水本に謝ったら、謝らなくていいよと言われて切り替えられた」。外角の甘い球をたたくと、弾丸ライナーが中堅の柵を越えた。

挽回の同点ソロで勢いに乗ったかに見えたが、後続が併殺と三振に倒れた。その裏に四球と失策で1死満塁のピンチを迎え、三振のボールを捕逸して勝ち越しを許した。その後は五回に先頭の小川が四球で出塁したが、続く代打神近の安打性の当たりは二塁手の正面を突いて併殺になった。

それでも、中学時代に目立った実績がない選手たちが「和をもって技を制す」のスローガンの下、磨いてきた守備力は随所で見せた。三塁佐々木、捕手岩崎が邪飛を好捕、二塁原も難しい当たりを好プレーでさばっていた。右翼山下もピンチで「右ゴロ」に仕留めて乗り切り、エース水本は3試合連続自責点0で投げ抜いた。全国から実績のある選手を集めてきた優勝候補に堂々と渡り合った。

主将の山下は「勝てない試合じゃなかった。もっと走塁や守備を徹底して、インターハイを目指す」と前を向いた。全国上位への確かな手応えと課題を残して長崎商の春舞台が終わった。(中島崇雄)

▽女子3回戦
長崎商01000000
11000000 X 21

創志学園(岡山)

(長)水本一岩崎

(創)内田、今田一久枝、松

久

▽本塁打 平石(長)

▽二塁打 近藤(創)

▽男子2回戦

大村 工6-0郡山北工

(福島)